

Mini  
**Disclosure**

ひびしん 経営内容のお知らせ

**上半期ディスクロージャー**  
**2022 4.1▶9.30**

**100<sup>th</sup>**  
**Anniversary**

このまちが、すべて。  
このまちに、すべて。

おかげさまで当金庫は  
2024年1月15日に創立100周年を迎えます。

# 創立100周年に向けた取

## 創立100周年ポスターの作成

当金庫は令和6年1月15日に創立100周年を迎えます。  
創立100周年をより多くの方にお知らせするため、ポスターを作成し、全店に掲示しております。  
ポスターには、創立100周年を迎えるにあたり作成した、  
記念ロゴ・ブランドスローガン・ステートメントを掲載しております。  
創立100周年に向けて福岡ひびき信用金庫従業員一同、お取引先様および地域の皆様との絆を深め、  
明るく豊かな未来を創るため、時代の流れに対応した変化と挑戦を続けてまいります。

### 創立100周年ポスター



# り組みについて

## 記念商品の取り扱いの開始

創立100周年を迎えることを記念して、金利優遇商品の取り扱いを令和4年10月3日より始めました。  
期間限定のお得な商品となっておりますので、この機会に是非ご利用下さい。  
詳しい内容につきましては、お近くの店舗までお問い合わせください。

### 住宅ローン



### 消費者ローン



### 定期預金



【上記商品は令和5年3月31日までのお取り扱いとなっております】

## TOPICS トピックス

苅田駅前の駅前通りに面した旧店舗の向かいに移転し、令和4年11月21日（月）に新築オープン致しました。黒をベースとした外壁と庇には木材を使用した造りで、店内は吹き抜け構造としており、解放感と温かさを感じて頂ける店舗となっております。

### 苅田支店新店舗地図



## 苅田支店 新築オープン



営業車両は、当金庫初となるEV車両の導入により、環境に配慮しCO<sub>2</sub>排出量の削減に向けた活動も積極的に行ってまいります。

苅田地区の皆さまをはじめ、地域の発展に貢献できるよう精一杯尽力してまいります。  
皆さまのご来店を心よりお待ちしております。



# ひびしん 経営内容のお知らせ

## 令和4年度 上半期の業績について

### ① 事業概況

新型コロナウイルス感染症の「第6波」が落ち着き、行動制限がなかった4～6月期の国内総生産は、個人消費が伸び3四半期連続のプラス成長となりました。しかし、7月以降は「第7波」が急拡大し、全国の1日当り新規感染者数が26万人となり、福岡県内においては1.5万人を超える日も記録されるなど、「第6波」をはるかに上回る流行となりました。その間、日本政府は社会経済活動を重視し行動制限を課していないものの、外食や旅行を自粛する動きが見られました。8月以降は感染拡大ペースの減速に伴って行動自粛も和らぎつつあるほか、足下では、全国旅行支援や訪日客への水際対策の大幅な緩和など、経済活動の正常化へ向けた施策の実施により、高い経済効果が期待されています。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症再拡大の懸念に加え、ウクライナ情勢の影響で深刻化するエネルギー不足、為替相場の急激な変動、中国におけるゼロコロナ政策などの影響により、日本経済を取り巻く環境は依然として厳しい状況に置かれております。

このような状況の中で、令和4年度上期につきましては、長引く経済活動の停滞の影響を受けている中小企業を下支えするべく、お取引先の資金繰りなどの金融支援のご提案や、営業店と本部が連携した経営改善支援、事業承継支援に取り組んでまいりました。

令和4年度の上半期業績については、以下のとおりとなっております。

### ② 業績

#### 預金の状況

預金積金については、上期預金キャンペーンとして、この街の未来を担う子ども達を応援するため、ひびしん子ども応援定期預金“希”を販売し、56億6百万円獲得することができました。この結果、預金積金の9月末残高は、前期末対比381億3千3百万円増加の8,157億8千9百万円となりました。

#### 貸出金の状況

貸出金については、お客様の資金繰り支援も然ることながら、営業店と本部が連携してお客様に寄り添った経営改善支援にも力を入れた結果、事業性融資では新規事業所先401先を開拓し、37億5千3百万円を獲得することができました。また、個人向けの貸出について、消費者ローンを1,624件の31億6千万円獲得、住宅ローンを244件の44億4千7百万円獲得することができました。この結果、貸出金の9月末残高は、前期末対比46億5千1百万円増加の4,078億8千8百万円となりました。

#### 収益の状況

貸出金利息につきましては、コロナ禍において厳しい経営環境に置かれている中小企業を下支えするため、資金繰りなどの金融支援に力を入れたことで、事業性融資及び消費者ローンが伸長し、貸出金利息は対前年同月比2千8百万円の増加となりました。有価証券利息配当金につきましては、リスクとリターンのバランスに配慮した運用に取り組み、対前年同月比7億8千6百万円増加し、業務収益は増加しました。

また、株式等売却益や金銭の信託運用益が減少するなど臨時収益が減少した結果、経常収益は対前年同月比5億円増加の83億1千7百万円となりました。

一方、費用面では、資金調達費用の大半である預金利息が対前年同月比で5百万円減少、各種イベントなどの中止や預金保険料率の見直しもあり、人件費、物件費ともに減少しました。また、国債等債券売却損及び償還損が増加したことで、業務費用は増加しました。臨時費用も増加した結果、経常費用は対前年同月比13億2千1百万円増加の69億6千万円となりました。

以上の結果、経常利益は、前年同月比8億2千1百万円減少の13億5千7百万円となりました。

## 令和4年度 上半期の業績 (計数)

以下に掲載している諸計数等は、当金庫へのご理解を深めていただくために任意に開示しているものであり、会計監査人の監査は受けておりません。

また、各計数につきましては、単位未満を切り捨てて表示しております。

## 預金・貸出金の状況

令和4年9月期の預金積金残高は、8,157億円となりました。

令和4年9月期の貸出金残高は、4,078億円となりました。

## ■預金積金残高

(単位：百万円)

	令和4年3月期	令和4年9月期
預金積金残高	777,656	815,789
流動性預金	442,363	468,201
定期性預金	335,201	347,557
その他の預金	92	31

## ■貸出金残高

(単位：百万円)

	令和4年3月期	令和4年9月期
貸出金残高	403,237	407,888
割引手形	2,957	2,728
手形貸付	20,381	22,310
証書貸付	361,984	362,594
当座貸越	17,913	20,255

## ■業種別貸出金残高

(単位：百万円)

	令和4年3月期			令和4年9月期		
	貸出先数	貸出金残高	構成比(%)	貸出先数	貸出金残高	構成比(%)
製造業	534	20,502	5.08	546	22,846	5.60
農業 / 林業	9	38	0.00	12	44	0.01
漁業	1	1	0.00	1	0	0.00
鉱業 / 採石業 / 砂利採取業	3	37	0.00	3	35	0.00
建設業	2,014	47,536	11.78	2,045	47,257	11.58
電気・ガス・熱供給・水道業	3	1,780	0.44	4	1,729	0.42
情報通信業	76	745	0.18	77	650	0.15
運輸業 / 郵便業	162	9,284	2.30	162	9,286	2.27
卸売業 / 小売業	1,274	32,366	8.02	1,266	32,146	7.88
金融業 / 保険業	62	12,751	3.16	62	12,170	2.98
不動産業	924	79,785	19.78	938	82,112	20.13
物品賃貸業	33	2,615	0.64	30	2,538	0.62
学術研究 / 専門・技術サービス業	249	2,740	0.67	259	2,929	0.71
宿泊業	14	908	0.22	14	907	0.22
飲食業	756	7,467	1.85	772	7,314	1.79
生活関連サービス業 / 娯楽業	431	4,461	1.10	441	4,302	1.05
教育 / 学習支援業	70	1,947	0.48	71	2,070	0.50
医療 / 福祉	374	14,268	3.53	385	14,657	3.59
その他のサービス	576	11,983	2.97	578	12,011	2.94
地方公共団体	12	15,992	3.96	12	16,671	4.08
個人	21,764	136,042	33.73	21,645	136,205	33.39
合計	29,341	403,257	100.00	29,323	407,888	100.0

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

# ひびしん 経営内容のお知らせ

## 損益の状況

令和4年9月期の税引前当期純利益は、対前年同月比8億5千7百万円減少の13億1千3百万円となり、増収減益となりました。新型コロナウイルス感染症の長期化や資源高、円安が進行する中で、地域経済に大きな影響が及んでおります。先行きに不透明感があることは否めませんが、今後もお客様に寄り添い、金庫の健全性を保ちながら、課題解決に向けて役職員一丸となって取り組んでまいります。

### ■損益の状況

(単位：百万円)

	令和3年9月期	令和4年9月期
経常収益	7,817	8,317
経常費用	5,639	6,960
業務純益	1,697	2,217
コア業務純益	1,533	2,480
コア業務純益（除く投資信託解約損益）	1,179	1,467
経常利益	2,178	1,357
税引前当期純利益	2,170	1,313
当期純利益	1,573	931

## 有価証券の状況

主に国内の債券を中心に有価証券運用を行っており、令和4年9月期の評価損益は34億5千9百万円となっております。

### ■有価証券の状況

(単位：百万円)

	令和4年3月期				令和4年9月期			
	時価	評価損益	うち評価益	うち評価損	時価	評価損益	うち評価益	うち評価損
株式	8,506	2,287	2,296	9	6,818	1,750	1,760	9
債券	106,135	1,472	1,841	369	112,313	△119	1,329	1,449
その他	131,747	3,459	5,452	1,992	133,481	1,828	4,933	3,104
合計	246,389	7,219	9,590	2,371	252,613	3,459	8,023	4,564

(注) 1. 上記の「その他」とは外国証券及び投資信託等です。  
2. 評価損益には帳簿価額(償却原価)と時価との差額を計上しております。

## 不良債権の状況

金融再生法開示債権による不良債権比率は2.84%となりました。不良債権に対しては十分な引当を実施しており、内部留保とあわせて備えは万全です。

### ■金融再生法上の不良債権残高

(単位：百万円)

	令和4年3月期	令和4年9月期					
	開示残高	開示残高 (a)	保全額 (b)	担保・保証等による回収見込額 (c)	貸倒引当金 (d)	保全率 (b/a)	引当率 d/(a-c)
金融再生法上の不良債権 (A)	10,552	11,659	10,331	8,330	2,000	88.60%	60.09%
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	2,847	2,858	2,858	2,158	700	100.00%	100.00%
危険債権	6,506	7,737	6,789	5,763	1,026	87.74%	51.98%
要管理債権	1,198	1,064	683	409	274	64.25%	41.88%
正常債権	394,117	397,609					
合計 (B)	404,670	409,269					
不良債権比率 (A) / (B)	2.60%	2.84%					

(注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の理由により経営破綻の状態に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。  
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。  
3. 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権をいいます。  
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権をいいます。

## 自己資本の状況

当金庫の令和4年9月期の自己資本比率は、国内基準の4%を大幅に上回っており、経営の健全性を維持しております。

### ■単体自己資本比率

(単位：百万円)

項 目	令和4年3月期	令和4年9月期
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	51,829	52,552
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る会員勘定の額	50,123	51,060
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	1,605	1,391
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の45%に相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	100	100
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	283	244
無形固定資産（モーゲージ・サービシング・ライセンスに係るものを除く。）の額の合計額	283	244
<b>自己資本の額 ((イ) - (ロ)) (ハ)</b>	<b>51,545</b>	<b>52,307</b>
信用リスク・アセットの額の合計額	432,979	443,003
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	0	0
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	0	0
うち、上記以外に該当するものの額	0	0
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8%で除して得た額	20,428	20,428
<b>リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)</b>	<b>453,407</b>	<b>463,431</b>
<b>自己資本比率 ((ハ) / (ニ))</b>	<b>11.36%</b>	<b>11.28%</b>

(注)自己資本比率の算出方法を定めた告示の改正に伴う新しい自己資本規制に基づき算出しています。  
なお、当金庫は国内基準を採用しております。

## 出資金及び会員数の状況

信用金庫は、営業地域内の中小企業や住民の方々を会員とした協同組織の地域金融機関です。地域の皆さまからお預かりしたご預金等をもとに、会員の方はもちろん地域の皆さまに広くご融資しております。信用金庫は地域の中小企業や住民の皆さまに安定した資金を提供することで、地域の再生・活性化を図ることを使命としております。

### ■出資金および会員数

	令和4年3月期	令和4年9月期
出 資 金 残 高 (百万円)	3,477	3,459
会 員 数 (人)	73,404	73,034

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



## 福岡ひびき信用金庫

〒805-8520 北九州市八幡東区尾倉2-8-1  
TEL 093-661-2311(代表)

■ ホームページアドレス

<http://www.fukuokahibiki.co.jp/>

■ テレホンバンキングサービス

フリーダイヤル 0120-842-506

